

令和元年度
MEMSパークコンソーシアム
総会議案書

平成30年度 事業活動報告・決算報告
令和元年度 事業計画（案）・審議事項

日時：令和元年6月28日（金）13:40～
会場：西澤潤一記念研究センター

MEMS
PARK CONSORTIUM

報告事項

1 活動方針（平成 30 年度総会決定）

既存事業については、経常的経費の削減を行い、ネットワーク活動のさらなる充実に充て、会員満足度の向上を図る。

また、マスコミからの注目度の高い国際イノベーションコンテスト（iCAN）の活用や、展示会への出展を通して広報活動を強化することで、新規会員の獲得を図る。

（1）情報発信事業

MEMS 集中講義や他機関との連携による効果的なセミナーを実施し、MEMS 技術の積極的な活用を促すとともに、WEB サイト、メールマガジン等の広報ツールを活用し、会員企業様への情報発信の更なる充実を図る。

また、各県公設試や企業と連携の上、ナノ・マイクロビジネス展等への出展を継続し、東北地域のものづくりネットワークを広くアピールする。

さらに、仙台 MEMS ショールームの各種展示物のアップデートにより、MEMS 分野における最新情報を発信していくほか、ショールーム内でのセミナーを開催することにより、仙台地域における MEMS の拠点性をアピールする。

（2）人材育成事業

基礎講座・設計実習・試作実習とも希望に応じて実習開始時期を通年とし、より企業ニーズに即した形で会員企業様等が自ら企画したデバイスの試作実習ができるよう、人材育成事業を実施する。

また、iCAN'18 国内予選の仙台開催、世界大会の日本事務局の運営により、高校生から大学院生等の次世代の MEMS 技術を担う若手人材育成を強力に推進する。

（3）技術相談事業

展示会での技術相談のほか、WEB や東北地域の関係機関によるネットワークを有効に活用して迅速な課題解決を図る。

（4）ネットワーク形成事業

セミナーと連動した交流会の実施により、会員同士、講師の方々との情報交流を促進し広範なネットワーク形成を支援する。

2 活動内容（実績）

（1）情報発信事業

①公開セミナーの開催

■MEMS 集中講義 in 豊田工大

日程：平成 30 年 8 月 2 日（木）～8 月 4 日（土）

場所：豊田工業大学（名古屋市天白区）

参加者数：78 名（一般 62 名、講師・関係者 16 名）

内容：

- ・名古屋市での開催となった今年は、東北大学、豊田工業大学の研究者の方々より、MEMS 技術の基礎的知識から各分野のアプリケーションへの応用・展開、最新の技術・業界動向や、センサ・MEMS を用いた異分野融合研究について等、様々な角度から情報提供を行った。
- ・期間中に豊田工業大学の CR 見学ならびに研究室見学会を行った。
- ・また、参加者の相互交流・連携構築を目的とした交流会も行った。



講義風景



交流会風景

■ マイクロシステム融合研究会

本研究会では、大学や企業の方が集まって、各々の研究している技術の現状や、新しいプロジェクトの展望、MEMS を含む今後のナノテク分野の産業の在り方などについて発表・議論した。

・ 第 24 回 マイクロシステム融合研究会

日程：平成 30 年 6 月 15 日（金）14:00～18:00, 18:00～18:30 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台 MEMS ショールーム」

参加者数：49 名

・ 第 25 回 マイクロシステム融合研究会

日程：平成 30 年 10 月 19 日（金）14:00～18:00, 18:00～18:30 交流会

場所：東北大学「西澤記念研究センター」内「仙台 MEMS ショールーム」

参加者数：29 名

■ 平成 30 年度 MEMS マッチングフォーラム〔ロボット×触覚センサ〕

日程：平成 31 年 1 月 24 日（木）14:00～18:15

場所：東北大学片平さくらホール

参加者数：79 名（一般 66 名，講師・事務局 13 名）

内容：地域産業の深刻な労働力不足を背景に、高まりつつあるロボットハンド開発ニーズに対して、どのようなことが MEMS に期待されるか、東北大学マイクロシステム融合研究開発センター室山准教授他が講演を行った。

② 展示会の開催・出展

■ MEMS センシング&ネットワーク展

日程：平成 30 年 10 月 17 日（水）～19 日（金）

会場：幕張メッセ

展示会来場者（3 日間合計）：28,660 名

ブース来場者（3 日間合計）：約 100 名

内容：MEMSPC の提携会員である青森県、岩手県、秋田県、山形県、新潟県の公設
試と共同で出展した。

■SEMICON Japan 2018

日程：平成 30 年 12 月 12 日（水）～14 日（金）

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3 日間合計）：52,865 名

ブース来場者（3 日間合計）：約 150 名

内容：東北大学田中研究室出展ブースの一角にて MEMSPC のパンフレット配布等
を行った。

■nano tech 2019 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

日程：平成 31 年 1 月 30 日（水）～2 月 1 日（金）

会場：東京ビッグサイト

展示会来場者（3 日間合計）：43,622 名

ブース来場者（3 日間合計）：約 80 名

内容：MEMSPC 出展ブースにて、パンフレット配布等を行った。



nano tech 2019 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議での展示の様子

③MEMS ショールームの運営

MEMS ショールームを会場とした研究会の開催等により、数多くの方に展示デバイスや MEMS の歴史等をご見学いただいた。

- ・平成 30 年度見学者数（署名いただいた方）：39 名
- ・オープン（2012 年 5 月）以降累積見学者数：1,105 名

(2) 人材育成事業

①第 9 回国際ナノ・マイクロアプリケーションコンテスト (iCAN'18) 国内予選

日程：平成 30 年 4 月 22 日（日）

場所：3M 仙台市科学館 2 階 特別展示室

参加者総数：約 100 名

内容：

- ・ MEMS デバイスを用いたアプリケーションを提案し、試作した成果を競う国際コンテストの国内予選を開催した。大学生・高校生計 17 チームが予選に参加し、審査の結果、京都大学(TBT2)『spielraum alarm』, 市川高校(Intelligent Bottle Keeper Developing Team)『残量通知機能付ボトルキーパー』の上位 2 チームが世界大会出場を決めた。



展示の様子



表彰式の様子

②第 9 回国際イノベーションコンテスト (iCAN'18) 世界大会

日程：平成 30 年 6 月 23 日 (土) ~25 日 (月)

場所：香港

出場国 (地域)：タイ, 中国, ドイツ, フランス, スイス, 香港, 台湾, 日本, エジプト, オーストラリアから 23 チーム

内容：国内選抜 2 チームは健闘したものの、審査の結果、ともに優秀賞 (参加賞相当) であった。



参加チームの集合写真

③MEMSPC 人材育成事業

MEMSPC では、既存産業の高付加価値化、競争力強化のため、MEMS 技術全般について体系的に習得した人材を育成する事業を、産学官連携で提供した。

- ・ 基礎講座 (インターネットスクール) 受講者数：39 名
- ・ 設計・試作実習講座 受講者数：1 名

(3) 技術相談事業

各種展示会や試作コインランドリでの技術相談のほか、MEMS パークコンソーシア

ムのホームページ上に、MEMS 技術に関する各種相談を受けるための相談窓口を開設している。

(4) ネットワーク形成事業

各種セミナー・フォーラムの開催後、参加者相互、講演者等とのネットワーク構築、情報交換のための交流の場を提供し、多数の皆さまにご参加いただいた。

- ・交流会の実施：5回

3 東北大学試作コインランドリ

MEMS を中心とした各種半導体試作開発に関わる 4/6 インチラインを企業などに開放し、実用化を支援している。技術は保有しているが、適当な試作開発設備が無くて困っている企業等が人材を派遣して自ら試作を行うことで開発のコスト、リスクを軽減でき、実際の経験を持つ技術者も育成できる。

東北大学試作コインランドリが開発を支援した課題、浜松ホトニクス「広帯域波長掃引パルス量子カスケードレーザの開発」が文科省ナノテクプラットフォームの平成 30 年度秀でた利用成果最優秀賞を受賞した。12 月より販売を開始している。

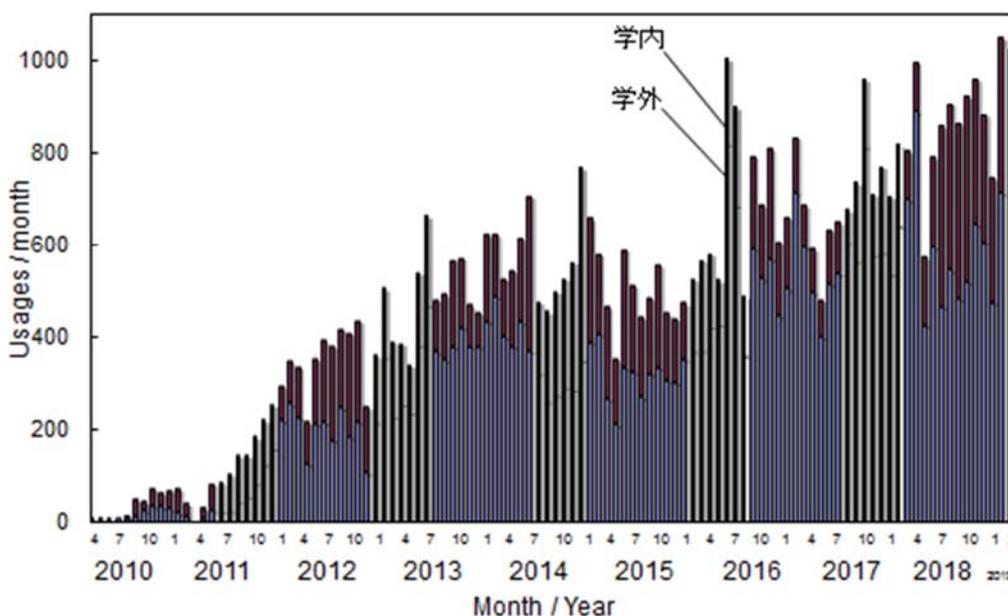
《平成 30 年度利用実績》

- ・利用件数 10,596 件（※これまでの推移は下図参照）
- ・利用料収入 17,886 万円

(参考) 平成 29 年度利用実績

- ・利用件数 8,546 件
- ・利用料収入 16,026 万円

試作コインランドリ 装置利用件数 ~2019.3



広帯域波長掃引パルス量子カスケードレーザの開発

Development of broadly wavelength swept pulsed QCL

ユーザー氏名：杉山厚志, 大河原悟 / Atsushi Sugiyama, Satoru Okawara
(浜松ホトニクス株式会社 / Hamamatsu Photonics K.K.)

実施機関担当者：戸津健太郎, 森山雅昭, 江刺正喜 / Kentaro Totsu, Masaaki Moriyama, Masayoshi Esashi
(東北大学 / Tohoku University)

▶ Key words

MEMS gratings, Quantum Cascade Lasers (QCLs)

概要 / Overview

高感度のガスセンシングや生体計測を実現するため、外部共振器構造を採用した小形の広帯域波長掃引パルス量子カスケードレーザを開発し製品化した。ナノテクノロジープラットフォームにおいては広帯域波長掃引を実現するため、SOIウエハを用いた電磁駆動形MEMSグレーティングを試作した。ブレース形状のグレーティング径は5 mmφの面積で、高速かつ大きな機械傾斜角を実現した。共振周波数はおおよそ1800 Hz、最大機械傾斜角は9 degを達成した。開発した波長掃引QCLを用いて、非侵襲血糖値計測実験およびメタンの吸収計測に成功した。

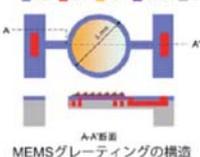
The MEMS grating, with a mirror diameter of 5 mm, is fabricated for broadly wavelength swept quantum cascade lasers to realize high sensitive gas sensing and biosensing. It consists of a Cu damascene coil for the magnetic actuator and a nano-imprinted braze grating. A resonant frequency reaches approximately 1800 Hz. Despite a large mirror, a mechanical scanning angle of 9 deg is measured. Using a MEMS grating, absorption spectroscopies of blood glucose and CH₄ are demonstrated with an external-cavity quantum cascade laser.

MEMSグレーティングの開発

Development of MEMS grating

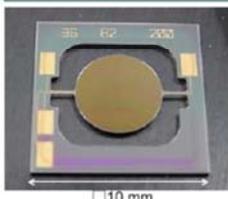
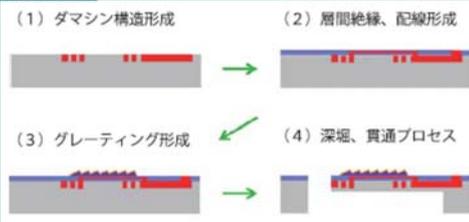
- 駆動コイルとグレーティングを同一面上に形成することでミラーを薄くすることができ、5 mmφの比較的大きなミラー径にもかかわらず、高い共振周波数と大きな機械傾斜角を両立した。

- 電磁アクチュエータ (1軸走査)
- Cuダマシコイル上にグレーティング
- グレーティング径: 5 mm
- ナノインプリント法によるブレースグレーティング
- 最大機械傾斜角: 8.7 度
- 共振周波数: 1795 Hz



MEMSグレーティングの構造

プロセス工程



MEMSグレーティング素子外観



ナノインプリントグレーティングSEM像

波長掃引パルス量子カスケードレーザ

Wavelength swept quantum cascade laser

- MEMSグレーティングと広帯域波長発振型の量子カスケードレーザを用いてリトロ型外部共振器を構成し、1.8 kHzのスピードで200cm²以上の波長範囲を掃引可能な、波長掃引パルス量子カスケードレーザを開発した。

- FTIRに代わる新しい赤外分光光源
- ビーム指向性による遠隔・非接触計測
- 高速スキャンによる分析スループット向上
- 複数成分、複数吸収線の一括検出
- グルコース計測 (血糖値、食品糖度)

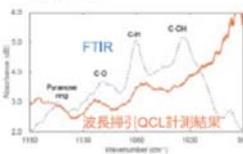
型名 L14890-09 の外観と製品仕様

項目	仕様値 (typ.)
中心波長	9.3 μm
波長掃引幅	200 cm ² (8.3~10.3 μm)
光パルス出力	400 mW
発振線幅	1.5 cm ²
スキャンレート	1.8 kHz

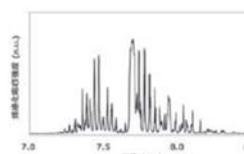
分光計測応用

Absorption spectroscopy

- MEMSグレーティングを搭載した波長掃引パルス量子カスケードレーザを用いて、生体中の血糖値計測およびメタンガスの吸収分光計測を試みた。血糖値計測では実用上有効な吸収ピークの検出に成功し、非侵襲血糖値計測への可能性を示した。メタンガス計測結果から波長分解能10 nm程度であることが分かった。



血糖値の生体計測例



メタンガスの吸収分光測定例

(注) 東北大学工学研究科 医用理工学分野紀要・片桐研究室

▶ Contact

杉山厚志 (浜松ホトニクス株式会社) / 戸津健太郎 (東北大学)

NanotechJapan
Nanotechnology Platform

平成 30 年度 決算報告

1 一般会計

(単位：円)

収入の部				
項目	H30年度予算	H30年度決算	備考	
前年度繰越金	13,163,739	13,163,739		
会費収入	4,350,000	4,300,000		
人材育成試作実習受講料	0	0		
協賛金	0	100,000		
雑収入	0	118	銀行利息	
iCAN特別会計繰戻	0	461,842		
交流会会費	0	146,000		
小口現金から繰戻	0	157,832		
合計	17,513,739	18,329,531		
支出の部				
項目	内訳	H30年度予算	H30年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	80,000	0	
	サーバレンタル費用	10,000	4,449	
	HP更新作業費	0	5,574	
小計		90,000	10,023	
出展関係費	Smart Sensing	0	0	H30出展なし
	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	60,000	72,468	展示物送料, 出展雑費
	SEMICON Japan関係	5,000	0	アカデミックブース出展
小計		65,000	72,468	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	60,000	54,648	MEMSPCブース出展費用
	MEMSPC総会関連	0	0	
	MEMS集中コース開催経費	850,000	19,300	講義映像記録費, 講師謝金・旅費 (H30予算は名古屋開催のため増額)
小計		910,000	73,948	
交流会開催費	MEMSPC総会	0	0	
	MEMS集中コース	200,000	150,756	
	MEMSマッチングフォーラム	200,000	78,324	
	マイクロシステム融合研究会	100,000	0	
	MEMSPC Café	0	30,000	
小計		500,000	259,080	
人材育成運営費	人材育成運営費	0	0	
小計		0	0	
iCAN運営費	iCAN運営費	2,556,000	2,000,000	※詳細な内訳は特別会計予算参照
	振り込み手数料	0	0	
小計		2,556,000	2,000,000	
事務関係費	事務用品費	50,000	12,168	事務用品費, 請求書・各種案内送料
小計		50,000	12,168	
両替手数料		0	216	
小口現金へ払出		0	157,832	
小計		0	158,048	
ショールーム関係費用	建物賃付料	160,000	155,908	
	光熱費	60,000	37,730	
小計		220,000	193,638	
支出合計		4,391,000	2,779,373	
当年度収支		-41,000	2,386,419	
次年度繰越金		13,122,739	15,550,158	

2 特別会計 平成30年度 iCAN 運営費

(単位：円)

【特別会計】収入の部				
項目		H30年度予算	H30年度決算	備考
前年度繰越金		0	0	
一般会計からの繰入金		2,556,000	2,000,000	
協賛金・助成金		300,000		企業協賛金
雑収入		0	5	銀行利息
合計		2,856,000	2,000,005	
【特別会計】支出の部				
項目	内訳	H30年度予算	H30年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	712,000	511,648	H30予算 関西地域(25,000円/人×2チーム) 東北地域(5,000円/人×2チーム) 関東地域(13,000円/人×2チーム) 中部地域(23,000円/人×4チーム) ※1チーム4名まで。県内からの参加者は補助なし。
	世界大会参加旅費	250,000	19,618	
		962,000	531,266	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,120,000	304,393	航空券, 宿泊料, 日当
小計		1,120,000	304,393	
国内予選人件費	審査員謝金	40,000	32,042	
	審査員旅費	124,000	130,182	
	司会委託費	20,000	18,066	
小計		184,000	180,290	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	340,000	223,475	上限20,000円×17チーム
	世界大会分試作補助費	40,000	22,928	上限20,000円
小計		380,000	246,403	
使用料・借入費	国内予選会場使用料	0	97,424	会場施設使用料
小計		0	97,424	
印刷・製本費	国内予選広報費	50,000	79,380	iCAN'19国内予選募集チラシ制作費
小計		50,000	79,380	
食糧費	国内予選交流会費	50,000	45,490	
小計		50,000	45,490	
事務関係費	消耗品費・事務手数料など	60,000	48,693	チラシ送料, MEMSセンサ送料など
小計		60,000	48,693	
雑費	世界大会事務経費	50,000	4,500	海外旅行保険料
小計		50,000	4,500	
支出合計		2,856,000	1,537,839	
当年度収支		0	462,166	
一般会計繰戻	一般会計への繰戻し	0	461,842	当年度収支から手数料を引いた額を、全額一般会計に繰戻し
	振込み手数料	0	324	
	(当年度収支)	0	462,166	(当年度収支と同額)
	口座残高	0	0	

**令和元年度事業計画（案）
審議事項**

- 1 役員の就任・辞任・変更
- 2 令和元年度事業計画（案）
- 3 令和元年度予算（案）

1 役員の就任・辞任・変更

MEMSPC 総会にて承認を得た後、下記のとおり役員体制を変更する。

(1) 就任・辞任

新	旧	所属	氏名
— (※)	代表	東北大学マイクロシステム 融合研究開発センター	江刺 正喜
代表	副代表	東北大学マイクロシステム 融合研究開発センター	戸津 健太郎

※江刺代表は総会の承認後、役員外のアドバイザーとして MEMSPC 運営に助言いただく。

(2) 変更

現時点で該当なし。

2 令和元年度事業計画（案）

平成 30 年度に引き続き、①情報発信事業、②人材育成事業、③技術相談事業、④ネットワーク形成事業を実施すると共に、以下のとおり事業の充実化を図る。

(1) 試作コインランドリ利用の推進について

各種展示会や講演会、仙台 MEMS ショールーム等において、試作コインランドリの活用による実用化例や、利用可能な設備、技術等の情報を広く発信して利用者の増加を目指す。また、MEMSPC 会員のネットワークも活用しながら、開発の支援を行う。

(2) MEMS 集中講義 in 川崎

第 17 回の MEMS 集中講義を下記の通り開催する。

日時：7 月 29 日（月）～ 7 月 31 日（水）

場所：川崎 AIRBIC（川崎市幸区新川崎 7-7）

例年通り参加費は無料とし、MEMS の基礎知識から学会等の最新情報までを幅広く扱って、MEMS に携わっている技術者、これから関係しようとする技術者に必要な情報を提供する。NANOBIIC の見学会も予定している。

(3) MEMSPC 会員企業の要望に応じたネットワーク構築活動

これまでの MEMSPC の取組みにより培ったネットワークを、会員企業がより効果的に利用できるよう、要望に応じて事務局がコーディネートや企業訪問を行う等により会員企業のネットワーク構築に寄与する。

3 令和元年度予算（案）

(1) 令和元年度 MEMSPC 予算積算内訳（一般会計）

（単位：円）

収入の部				
項目		R1年度予算	H30年度決算	備考
前年度繰越金		15,550,158	13,163,739	
会費収入		4,300,000	4,300,000	1口50,000円
人材育成試作実習受講料		0	0	
協賛金		0	100,000	財団法人みやぎ産業科学振興基金寄附
雑収入		0	118	銀行利息
iCAN特別会計繰戻		0	461,842	
交流会会費		100,000	146,000	
小口現金から繰戻		0	157,832	
収入合計		19,950,158	18,329,531	
支出の部				
項目	内訳	R1年度予算	H30年度決算	備考
広報関係費	活動案内パンフ増刷	30,000	0	
	さくらインターネットHP更新作業費	6,000	4,449	
	さくらインターネットサービス継続利用料	6,000	5,574	
小計		42,000	10,023	
出展関係費	MEMSセンシング&ネットワークシステム展	85,000	72,468	展示物送料, 出展雑費
	SEMICON Japan関係	50,000	0	アカデミックブース出展
小計		135,000	72,468	
セミナー関係費	MEMS Engineer Forum関係	70,000	54,648	MEMSPCブース出展費用
	MEMSマッチングフォーラム	150,000	0	
	MEMS集中講義開催経費	200,000	19,300	講義映像記録費・会場使用料・講師謝金・旅費
小計		420,000	73,948	
交流会開催費	MEMS集中講義	100,000	150,756	
	MEMSマッチングフォーラム	0	78,324	H30決算では交流会開催費で計上
	マイクロシステム融合研究会	100,000	0	
	MEMSPC Café	0	30,000	
小計		200,000	259,080	
iCAN運営費	iCAN運営費	3,701,000	2,000,000	※詳細な内訳は特別会計予算参照
	振り込み手数料	0	0	
小計		3,701,000	2,000,000	
事務関係費	事務用品費	30,000	12,168	事務用品費, 請求書・各種案内送料
小計		30,000	12,168	
両替手数料		500	216	
小口現金へ払出		150,000	157,832	
小計		150,500	158,048	
ショールーム関係費用	建物賃付料	170,000	155,908	
	光熱費	45,000	37,730	
小計		215,000	193,638	
支出合計		4,893,500	2,779,373	
当年度収支		-493,500	2,386,419	
次年度繰越金		15,056,658	15,550,158	

(2) 令和元年度 iCAN 運営費 予算積算内訳 (特別会計)

(単位:円)

【特別会計】収入の部				
項目		R1年度予算	H30年度決算	備考
前年度繰越金		0	0	
一般会計からの繰入金		3,701,000	2,000,000	
協賛金・助成金		0	0	
雑収入		0	5	銀行利息
合計		3,701,000	2,000,005	
【特別会計】支出の部				
項目	内訳	R1年度予算	H30年度決算	備考
国内旅費	国内予選参加チーム旅費	740,000	511,648	H31予算 関西地域(25,000円/人×3チーム) 中部地域(23,000円/人×4チーム) 関東地域(13,000円/人×1チーム) 東北地域(5,000円/人×1チーム) ※1チーム4名迄。県内からの参加者は補助無。
	世界大会参加国内旅費	200,000	19,618	
		940,000	531,266	
海外旅費	世界大会参加旅費	1,756,000	304,393	航空券150,000円/人、宿泊料16,100円/日×3泊、日当5,300円/日×4日
小計		1,756,000	304,393	
国内予選人件費	審査員謝金	50,000	32,042	
	審査員旅費	150,000	130,182	
	司会委託費	20,000	18,066	
小計		220,000	180,290	
器具・備品費	国内予選分試作補助費	340,000	223,475	上限20,000円×17チーム
	世界大会分試作補助費	40,000	22,928	上限20,000円
小計		380,000	246,403	
使用料・借用費	国内予選会場使用料	175,000	97,424	会場施設使用料
小計		175,000	97,424	
印刷・製本費	国内予選広報費	85,000	79,380	iCAN'20国内予選募集チラシ制作費
小計		85,000	79,380	
食糧費	国内予選交流会費	80,000	45,490	
小計		80,000	45,490	
事務関係費	消耗品費・事務手数料など	55,000	48,693	チラシ送料、MEMSセンサ送料など
小計		55,000	48,693	
雑費	世界大会事務経費	10,000	4,500	海外旅行保険料
小計		10,000	4,500	
支出合計		3,701,000	1,537,839	
当年度収支		0	462,166	
一般会計繰戻	一般会計への繰戻し	0	461,842	当年度収支から手数料を引いた額を、全額一般会計に繰戻し (当年度収支と同額)
	振込み手数料	0	324	
	(当年度収支)	0	462,166	
	口座残高	0	0	

MEMS パークコンソーシアム 令和元年度役員等名簿（案）

【役員】				
肩書	所属	部署	役職	氏名
代表	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	准教授	戸津 健太郎
副代表	SEMIジャパン		代表	浜島 雅彦
副代表	東北大学	未来科学技術共同研究センター	教授	桑野 博喜
副代表	東北大学		名誉教授	原山 優子
副代表	東北経済産業局	地域経済部	部長	蘆田 和也
副代表	宮城県	経済商工観光部	部長	鈴木 秀人
副代表	仙台市	経済局	局長	遠藤 和夫
監事	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	支店長	佐野 成信
幹事	富士電機 株式会社	技術開発本部 先端技術研究所 材料基礎技術研究センター 先端材料技術研究部 計測デバイスGr	主査	松下 浩二
幹事	株式会社 アドバンテスト研究所		代表取締役社長	君島 正幸
幹事	株式会社 メムス・コア		代表取締役社長	本間 孝治
幹事	東北イノベーションキャピタル 株式会社		代表取締役社長	熊谷 巧
幹事	産業技術総合研究所 東北センター		上席イノベーションコーディネータ	南條 弘
幹事	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
幹事	東北大学ベンチャーパートナーズ		代表取締役社長	吉村 洋
顧問	一般社団法人 東北経済連合会		会長	海輪 誠
顧問	東北大学		総長	大野 英男
顧問	東北経済産業局		局長	相樂 希美
顧問	宮城県		知事	村井 嘉浩
顧問	仙台市		市長	郡 和子
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一

【アドバイザー】

アドバイザー	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	シニアリサーチフェロー	江刺 正喜
--------	------	--------------------	-------------	-------

【推進委員会委員】

肩書	所属	部署	役職	氏名
委員長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
委員	株式会社 日本政策投資銀行	東北支店	次長兼企画調査課長	柏原 滋
委員	株式会社 ティ・ディ・シー		代表取締役社長	赤羽 優子
委員	株式会社 リコー	未来技術研究所		齋藤 哲郎
委員	一般社団法人 東北経済連合会	東経連ビジネスセンター	センター長	西山 英作
委員	東北大学	研究推進部産学連携課	課長	三上 洋一
委員	東北経済産業局	地域経済部製造産業課	課長	高坂 英利
委員	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長	石川 佳洋
委員	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	課長	神倉 崇

【事務局】

肩書	所属	部署	役職	氏名
事務局長	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	特任教授	大高 剛一
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	准教授	戸津 健太郎
	東北大学	マイクロシステム融合研究開発センター	事務補佐員	庄子 留美子
	東北経済産業局	地域経済部製造産業課	課長補佐	千葉 雅幸
	東北経済産業局	地域経済部製造産業課	総括係長	西谷 剛
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	課長補佐(班長)	柳谷 憲治
	宮城県	経済商工観光部新産業振興課	主事	三浦 純也
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	係長	荒木田 理
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	主事	岸 隼人
	仙台市	経済局産業政策部産業振興課	主事	加藤 廣康